

授業改善のポイント 第5学年

複数の資料を読み取る力を付ける

資料から必要な情報を取り出し、関連付ける。

まずは、問題文をよく読み、場面把握をしっかりとさせましょう。

次に、それぞれの資料の内容を正しく読み取らせましょう。特に複数の資料がある場合は、どの問題にどの資料と関連が強いのか、必要な情報を取り出し、考えを整理させていくことが大切です。

1 問題場面を把握する。

青空小学校のあいさつのめあて

- ① 自分から すすんで あいさつをする。
- ② はっきりした声で あいさつをする。



このめあてが達成できているかを調べるためにアンケートを取ったんだね。資料をよく読んで確かめてみよう。

2 資料から必要な情報を取り出し、それらを関連付ける。

アンケートの こまめ項目 学年 (人数)	自分から すすんで あいさつが できた人数	はっきり した声で あいさつが できた人数
1年生 (83人)	81人	82人
2年生 (82人)	75人	78人
3年生 (83人)	79人	80人
4年生 (81人)	75人	77人
5年生 (86人)	72人	50人
6年生 (85人)	73人	48人
合計(500人)	455人	415人

資料2 あいさつ運動のおもな感想

- 毎朝、元気よくあいさつができて、気持ちよかったです。
- 生活委員のみなさんが、笑顔であいさつしてくれて、うれしかったです。
- 「あいさつが上手だね」とほめられてうれしかったです。
- あいさつの大切さがかんじた。これからはますますあいさつをしたい。
- 生活委員にはあいさつをしたけど他の人にはあまりしなかった。
- 友達と話していて、あいさつをしないことが多かった。
- はずかしくて小さい声であいさつすることが多かった。
- 自分はいあいさつをしていけれど、していない人も多くいた。
- あいさつ当番の人数が少なと思った。

資料3 あいさつ運動への意見

- あいさつを呼びかけるポスターをはるとよいと思う。
- 校前にだけでなく、げんかん前にも当番がいるとよいと思う。
- あいさつがよかった人に賞状をあげるとよいと思う。
- あいさつキャラクターを決めて、当番といっしょに立つとみんな喜んでくれると思う。

【資料1】 「自分からすすんであいさつ」は、できた人数が多いね。でも、「はっきりした声であいさつ」は、できた人数が少ない学年があるぞ。ここで意見が分かれそうだな。

【資料2】 よい感想だけではなく、問題点を挙げている感想も多いね。めあてを達成したとは言えないかもしれないね。

【資料3】 いろいろな意見が出てきているね。資料2の感想とも関係しているね。どの案がよいかな。

必要な情報を関連付ける。

このように資料の内容を比べたり結び付けたりしながら読むことで、読み取りが深まります。



資料1「はっきりした声であいさつ」の人数が少ないことや資料2「小さい声であいさつすることが多かった」などから、ぼくは、資料3「ポスターで呼びかける」がよいと思うな。



話し手の意図を正しくとらえる力を付ける

① 大切な文や言葉に線を引いたり、メモをしたりする。

話し合いの記録文を読むときは、自分の立場や考えをはっきりさせている文や言葉に注目させます。

その際、大切な文や言葉に線を引いたり、「これはA案の問題点だ」などメモを残したりしておくことで、全ての文を読み終わった後、整理がしやすくなります。

一文目で、自分の立場を言っているね。小林さんは「A案に反対」と言っている。ということは、B案と考えられるね。



問題文では、説得力のある意見の述べ方をしています。自分が話すとき、書くときに生かせるよう文章を読みながら、確認していくことが大切です。

A案

田中さん

わたしは、A案に賛成です。 あいさつ運動への意見に「あいさつが上手な人に賞状をあげるとよい」という意見があるからです。わたしも以前、ハンカチ・ティッシュ調べで賞状をもらったことがあります。うれしかったので、カードをあげることはよいことだと思います。

資料を用いて、支持する立場のよさを述べています。

B案

小林さん

わたしは、A案に反対です。 同じ人ばかりが名人カードをもらって、カードをもらえない人が出る心配があるからです。そうすると、あいさつをする気もなくなるのではないのでしょうか。

自分の意見に体験したことを加えると、説得力が増します。

A案の問題点の指摘

田中さん

たしかに、同じ人がもらうこともあると思います。でも、名人カードをもらうことでやる気を出す人もたくさんいると思います。

問題点を指摘されても、さらに自分の意見を述べて説得しようとしています。

A案の問題点への意見

高橋さん

ぼくは、B案に賛成です。「あいさつ当番の人数が少ないと思った」という感想があります。全校のみなさんから協力してもらえば、他の場所にも立つことができます。いろいろな場所からあいさつが聞こえれば、もっとよい声であいさつをするようになると思うからです。

意見を述べる際は、まず自分の立場をはっきりさせます。次に理由を述べます。文末にも気を付けましょう。

田中さん

わたしは、B案に反対です。「はずかしくて小さな声であいさつをした」という感想があります。はずかしいと思う人が当番をすると、あいさつを返す人の声も小さくなると思います。

渡辺さん

ぼくも、B案には反対です。当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなると思います。それではあいさつをするどころではありません。

問題点を指摘されても、解決方法を述べて説得しようとしています。

B案の問題点の指摘

高橋さん

渡辺さんの意見について、よい考えがあります。当番の決め方を工夫すれば、大丈夫です。

相手の意見に納得できないときは、積極的に質問をすることで話し合いが深まります。

B案の問題点の解決方法

渡辺さん

当番の決め方を工夫と言っても、それではよく分かりません。どのように工夫するのかよい方法はありますか。

解決方法に対する質問

司会者

どちらの案にも問題点があるようです。解決方法をもう少し考えてみましょう。

どちらにもよさと問題点があるね。自分はどちらの案に賛成しようかな。



② 資料から得た情報を整理し、
自分の意見をもつ。

それぞれの案のよさや問題点を整理させておくと、自分の立場を決める際、考えやすくなります。

さらに、問題点に対する自分の考えや解決方法を考えておくことも自分の意見をより強くすることに役立ちます。

立場が決まったら、必要な情報を取り出し、意見文に構成していきます。

	A案	B案
	「あいさつ名人カード」を渡す	全校児童もあいさつ当番をする
よさ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名人カードをもらうことでやる気を出す人がたくさんいる。 ○ 名人カードをもらうために、はっきりした声であいさつをするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校から協力してもらえば、いろいろな場所であいさつ運動ができる。 ○ これまであまりあいさつができていない人も、しっかりとあいさつをするようになる。
問題点	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 同じ人ばかりが名人カードをもらって、カードをもらえない人が出る心配がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 生活委員がカードを渡すことに気をとられていると、あいさつをしている人を見のがしてしまう。



問題点に対する意見 (解決方法も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ カードをたくさん用意しておく。 ◎ 期間中にもらえる枚数を決めておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ あいさつをする人、カードを渡す人を分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 2～3人のグループでいっしょにあいさつすれば声も大きくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 一週間ごとにあいさつ当番をする学年を交代していく。
------------------------	--	---	--	---

〈A案のよさ〉

名人カードをもらうことでやる気を出す人がたくさんいるね。そういえば、ぼくにも同じような経験があったよ。

〈A案の問題点〉

でも、生活委員がカードを渡すことに気をとられていると、あいさつをしている人を見のがしてしまうかもしれないな。



〈A案の問題点の解決方法〉

そうだ。あいさつをする人とカードを渡す人を分ければいんだよ。それできっとうまくいくよ。

よし！ぼくは、A案で書こう。

立場を明確にして記述する力を付ける

① 自分の立場を述べ、理由も示す。

文章を構成していく際は、下にあるような「構成メモ」を活用するとよいでしょう。「始め」「中」「終わり」の三部構成にし、その中に情報を当てはめていきます。

自分の意見を読み手に分かりやすく伝えるには、伝えたい内容に合わせ段落を作るなど、意図的に文章を構成していくことが大切になります。

いくつかの型がありますが、今回は、第1段落で自分の立場を述べ、その理由を示していく型が書きやすいでしょう。

終わり	中	始め
立場の表明の繰り返し	問題点に対する意見	立場の表明
このような理由から、○案の方がよいと思います。	理由② 二つ目の理由は、○○○だからです。 たしかに、A案（またはB案）には～という問題点があります。しかし～	理由① 一つ目の理由は、○○○だからです。 わたしは、○案に賛成です。理由は二つあります。

書くことを苦手にしている児童には、各段落の書き出しの型を示すと、抵抗感が和らぐでしょう。
必要のない言葉がある場合は、説明文の学習と関係づけ、自分の文章にすんで生かしていくよう指導しましょう。

② 自分の経験や解決方法を入れて説得力を増す。

自分が選んだ理由に、資料や文章から考えたよさだけでなく、自分の経験や予想を入れると、より分かりやすくなります。また、「たしかに～でしょう。しかし～と思います」などの書き方を使って、支持する案の問題点とその解決方法を示すことで、より説得力のある意見に高めることができます。

問題点に対する解決方法を述べています。

予想の文を加えています。

問題点に対する解決方法を述べています。

体験の文を加えています。

わたしは、B案にさん成します。なぜなら、いろいろな学年の子とあいさつができるからです。わたしは、今、自分と同じ学年の友達としかあいさつをしていません。でも、他の学年の子ともあいさつできるようなになれば、もっと学校生活が楽しくなるだろうと思います。

たしかに、当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなり、よいあいさつができないと考える人もいます。しかし、一週間ごとにあいさつ当番をする学年を交代していけば、こんざつすることもなく、よいあいさつができると思います。

文章を書くときだけでなく、話し合いのときにも役立つね。



ぼくは、A案にさん成します。理由は二つあります。

一つ目の理由は、資料3を見ると、あいさつが上手な人に賞しようをあげるとよいという意見があるからです。ぼくも以前、歯みがき週間で毎日しっかり取り組んで、賞しようをもらったことがあります。賞しようをもらうとまたやる気が出ると思います。

たしかに、A案には、カードをわたすことに気を取られているとあいさつをしている人を見のがしてしまうという心配があります。しかし、あいさつをする人、カードをわたす人を分ければ大丈夫だと思います。